



岡山東支援だより

岡山県立岡山東支援学校
令和8年3月5日
第11号



卒業前に響き合う 山からのエール

本校の北西にある山の頂には、一つの貯水タンクがあります。そこまで歩いて登ると、眼下には校舎の全景が広がります。



先日、卒業を間近に控えた高等部の3年生たちがこの山に登りました。見慣れた学び舎を高い場所から見つめ直し、長い間お世話になった校舎に感謝を伝えるためです。

山頂に立つ3年生たちが校舎に向かって手を振ると、下の方から「おーい！」という元気な声が返ってきました。校舎に残る下級生たちが、精一杯声を張り上げていたのです。距離があるため、何を叫んでいるのかははっきりとは聞き取れません。校舎の壁にはホワイトボードが掲げられていましたが、そこにある文字も、山の上からは読むことができませんでした。



それでも、3年生と下級生は何度も「おーい！」「おーい！」と声を掛け合い、心を通わせていました。その賑やかに、近所の方々も「何事か」と外へ出てこられました。生徒たちの姿だと分かったら、温かい目で見守って下さいました。

山頂の卒業生たちは、懐かしい校舎を眺めながら思い出に浸ったり、「あっちにも行ってみようぜ」と貯水タンクの周りを探検したり……。信頼し合える仲間との別れを惜しむ複雑な胸中を抱えつつも、残りわずかな時間を、今という瞬間を、心から楽しんでいました。山を降り、校舎のそばまで戻った3年生たちの目に飛び込んできたのは、あのホワイトボードでした。そこには、下級生たちからの真っ直ぐなメッセージが刻まれていました。

「卒業おめでとう」「みんなだいすき」

あの時、届きそうで届かなかった声の正体は、この温かな言葉だったのです。

高等部3年生の皆さん。これから社会という大きな世界へ羽ばたいても、この日の景色と仲間の声を忘れず、自分らしく歩いていてください。ご卒業、おめでとうございます。



ボランティアさん ありがとう

～延べ約 350 名の方が支援してくださいました～

今年度、本校には 350 名（昨年度 288 名）のボランティアさんがいらしてくださいました。年間を通して授業補助や、教科学習の際のゲストティーチャー、体育館での舞台公演などさまざまな場面でご活躍いただきました。本校の教育活動がたくさんの方とのふれあいの中で行われていることをブログでも紹介しています。ぜひご覧ください。



みなさん 30 周年の記念キャラクターの名前が決まりました！児童生徒会やみなさんのおかげで素敵な名前になりました。ありがとうございます。



←就実大学の公演後、教室に戻ってすぐに、小学部生が嬉しい気持ちをイラストで表現してくれました。また来てね♡